

雪下ろし・落雪事故 注意情報

作業は二人以上で声掛けあって

- 事故等に備え、2人以上で声を掛け合いながら作業しましょう
- やむをえず1人で作業する場合でも、家族や隣人に声を掛けてから作業しましょう
- 携帯電話等、連絡できる準備をして作業しましょう

雪下ろしは重労働 休憩しながら

- 除雪作業前には準備体操を行い、最初はゆっくりと作業を始めましょう
- こまめに休憩をとり、水分補給しながら作業しましょう
- 体調の悪いとき、疲れたときは無理せずやめましょう

安全な動きやすい服装で

- ヘルメット、ゴム手袋、長靴、安全帯、かんじき等、安全確保のための服装を着用しましょう
- 除雪作業時は厚着せず動きやすい服装で行いましょう

足下に注意、命綱・安全帯を着用

- 滑りにくくするために雪を少し残し(20cm程度)、軒先には立たないようにしましょう
- 新雪や晴れの日には雪が緩みやすいので注意しましょう
- 転落に備え、建物の周りに雪を残しておきましょう
- 低い屋根でも油断は禁物です
- 命綱や安全帯を固定するには、反対側の柱に結ぶなど工夫しましょう
- 滑り落ちる雪に巻き込まれないよう、不用意に軒下に近づかないようにしましょう
- 水路に雪を捨てる際、巻き込まれないよう注意しましょう

はしごはしっかり固定

- はしごが倒れないよう屋根にしっかり設置しましょう
- 転落防止のため、はしごの足元をしっかりとめ、上部を固定しましょう
- はしごの先端は軒先より60cm以上高くしましょう

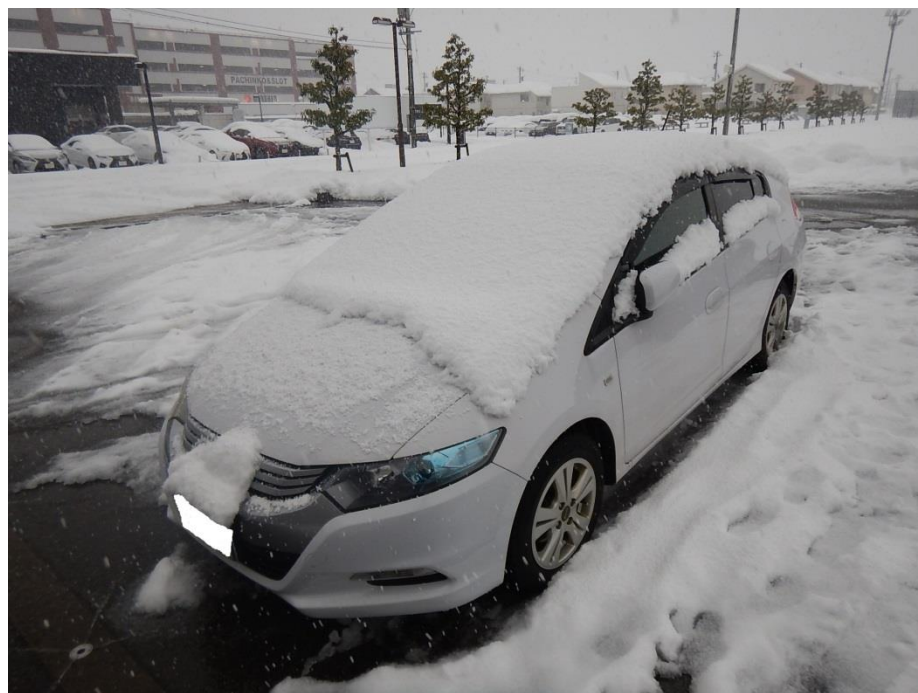
無理をしない!



油断しない!



【吹雪などで車が立ち往生したとき】



吹雪のなかで停車するなどして車が雪で覆われることがあります。エンジンをかけた状態でマフラーの排気口が雪でふさがれると、車外の排気ガスが逃げ場をなくして室内に流入し、一酸化炭素中毒の危険が高まります。

一酸化炭素は無臭で気付きにくいため、**非常に危険**です。

排気ガス事故に巻き込まれないために、マフラー(排気口)が雪でふさがれないように注意しましょう。

また、吹雪のなかで立ち往生したときには、時々風下側のウインドウを数cm程度開けて換気しましょう。